

昨年度の市町村への指導事項対応状況（子宮がん）

指導事項 ①	20歳台及び30歳台の検診受診率が他の年台に比べて低いため、オンラインによる受診申込の導入など、検診の利便性の向上に努めるとともに、あらゆる機会を利用して受診勧奨を行うこと。また、HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン接種の啓発に併せて、リーフレット等を活用して子宮頸がんの主な原因がHPVの持続感染であるという知識の啓発を行い、受診行動につなげること。		
	指導対象	対応状況	「対応あり」の場合:その内容 ()は「対応なし」の理由
仙台市	○	対応あり	HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン接種にかかる通知の際に、厚生労働省の啓発リーフレットを同封する等、子宮頸がん検診の広報を行った。
石巻市	○	対応あり	子どもの健診時に女性の保護者に対し検診の周知・申込みを受付けることで、検診の利便性向上に務めた。また、石巻市の子宮頸がん検診を過去3年未受診の26～30歳の方に対して、HPV自主検査キットの申込案内意を送付し、無料検査を実施。子宮頸がんの主な原因がHPVの持続感染であるという知識の啓発・がん検診の受診勧奨を行った。
塩竈市	○	対応あり	ワクチン接種の勧奨を進めることで、子宮頸がん検診に関する知識の啓発を行っている。
気仙沼市	○	対応あり	HPVワクチン定期接種の接種勧奨の通知には、子宮頸がんの主な原因がHPVの持続感染であると書かれた内容のチラシと一緒に配布している。
白石市	○	対応あり	各検診会場で自由に持ち帰ってもらうため、がん検診についてのリーフレットを配置した。
名取市	○	対応あり	・以前よりオンライン申請は導入済み。 ・30歳、35歳の対象者に対し、申込の有無にかかわらず受診票を送付し、受診勧奨を行った。 ・市内商業施設のスクリーン広告を利用し、がん検診実施を周知した。
角田市	○	対応なし	オンラインによる検診申込については全検診においての取組みとして検討調整中のため、現時点での導入時期は未定。HPVワクチン接種対象者への通知は今年度対象の方へ4月に1回のみのため、来年度以降の対応を予定。
多賀城市	○	対応あり	LINEでのオンライン申し込み導入済み。
岩沼市	○	対応あり	・Logoフォームにより受診申し込みを可能とした。 ・各種健診(検診)においてリーフレットなどによる啓発を実施した。 ・20歳の検診料金を無料とするほか、HPVウイルスに関する啓発を実施した。
富谷市	○	対応あり	左記の内容をふまえたリーフレットを同封し、周知啓発を行っている。また、国のクーポン対象である21歳のほか、市独自で26歳の方へ、無料クーポンを発行し、対象者全員へ送付、受診率向上に努めている。
登米市	○	対応あり	検診申込の有無に関わらず、20歳の方全員に受診票を配布し、受診率向上に努めている。また、HPVについても、受診票送付時にリーフレットを同封し啓発を行っている。
栗原市	○	対応あり	予防接種のキャッチアップ対象者に対し、厚生労働省のリーフレットなど啓発資材を送付し啓発に努めた。
東松島市	○	対応なし	(実施方法などの検討が必要なため。)
大崎市	○	対応あり	オンラインでの検診申込受付を実施している。またHPVワクチン対象者にハガキで啓発を行っている。
蔵王町	○	対応あり	他がん検診、各事業等で対象者に対して、受診勧奨を行っている。
七ヶ宿町	○	対応あり	20歳・30歳の女性に対して、啓発の通知を郵送し、受診を促した。オンラインによる受診受付は行っていないが、申し込みがなくても当日受診できる体制をつくっている。
大河原町	○	対応あり	20～39歳のかたを対象に検診期間中に受診勧奨はがきを送付。
村田町	○	対応あり	広報紙等への掲載などにより啓発実施。
柴田町	○	対応あり	令和6年度から無料対象年齢を21歳のみ→21歳,26歳,31歳に拡大し、対象者には全員に受診票を送付した。
川崎町	○	対応あり	・検診意向調査未回答者にも個別に受診票を送付。 ・HPVウイルスに関するリーフレットを同封。
丸森町	○	対応あり	受診票送付時にリーフレットを同封。
亘理町	○	対応あり	オンライン申込の他、全戸配布の広報誌、町公式ホームページ、無料検診対象者への受診勧奨通知に申込フォームのQRコードを掲載し周知を図った。
山元町	○	対応あり	予防接種の個別通知の際に、子宮頸がんの原因や予防についても周知している。広報やホームページでも、同様の周知を行うとともに、検診の受診勧奨も行っている。
松島町	○	対応あり	広報誌やホームページで受診勧奨している。
七ヶ浜町	○	対応あり	町内イベント会場等において、リーフレット等を配布し、啓発を行った。
利府町	○	対応あり	全世帯へ郵送する検診申込書にオンライン申込みするための二次元コードを表示させ、読み取ることでオンライン申込みできるようにしている。
大和町	○	対応あり	個別医療機関での検診の実施・受診票裏面に子宮頸がんに関する知識の啓発・検診料金を見直し、自己負担額軽減。

昨年度の市町村への指導事項対応状況（子宮がん）

	指導対象	対応状況	「対応あり」の場合:その内容（ ）は「対応なし」の理由
大郷町	○	対応あり	若年層の受診率向上を図るため、乳がん検診との同時受診を可能とし、利便性の向上に努めている。過去4年以内に一度でも受診歴のある者のうち、検診未申し込みの者を対象に受診票を送付し、受診を勧奨している。また、HPVワクチン予診票送付時には、子宮頸がんの主な原因であるHPVに関するリーフレットを同封し、知識の普及を図っている。
大衡村	○	対応あり	未申込者への受診勧奨(受診票の同封)を若年者に絞って実施(20～69歳)したことにより、受診しやすい環境づくりを行った。また、オンラインによる追加申込も受け付けている。HPVキャッチアップ接種の勧奨時に普及啓発を併せて行った。
色麻町	○	対応あり	各地区へ受診票を配布する役割を担う保健推進員へ、正しい知識を持ったうえで検診の重要性を伝えることができるよう、がん検診の研修会を行っている。また、広報誌や個別通知を活用し、検診の勧奨を行い受診率の向上に努めている。
加美町	○	対応あり	土日の開催や未検者の為にレディース検診として子宮、乳がんの検診を同一日に行うなど利便性の向上に努めた。
涌谷町	○	対応あり	子宮頸がんワクチンの対象者に対し、国のリーフレットを用いて個別通知によるワクチン接種とがん検診の必要性などの知識の啓発を行っている。
美里町	○	対応あり	受診率向上のため、休日に検診実施日を設けているほか、キッズスペースの設置など利便性向上に努めている。
女川町	○	対応なし	(オンラインによる受診申込は現時点では対応なし。子宮頸がんの主な原因についてはHPV予防接種対象者あてに郵送する説明書内に明記している。)
南三陸町	○	対応あり	30代については、当該年度の検診を申し込んでいない方を対象に、勧奨通知と受診票を送付し、受診勧奨を行っている。20代については、無料クーポン券対象者に、町の検診だけではなく医療機関でも受診できることを周知し、クーポンと合わせて医療機関の一覧も送付している。